



第2回

全国高校生

# 手話パフォーマンス甲子園



## 実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# 開催概要

## ●目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築くため全国初の「手話言語条例」を制定した鳥取県において「手話パフォーマンス甲子園」を開催し、全国の高校生が手話を使って様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

## ●日時

平成27年9月22日(火・国民の休日) 9時30分～16時30分

## ●会場

米子市公会堂(鳥取県米子市角盤町2-61)

## ●来場者

約1,550人(サテライト会場を含む)

## ●主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ●共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

## ●特別協賛

日本財団

## ●特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

## ●出場チーム

20チーム(24校)

※平成27年5月11日(月)から7月10日(金)まで参加チームを募集したところ、全国22都道府県から47チーム(50校)の申し込みがあった。7月29日(水)に審査員4名でビデオ視聴による予選審査会を開催し、上位19チームと鳥取県内の特別出場枠として1チームの計20チームを選出した。

## ●皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席いただき、おことばを賜った。



本大会には佳子内親王殿下に御臨席いただきました。

# 大会スケジュール

## ● スケジュール

9月22日(火・国民の休日)	
時刻	内容
9:30～	開会式 ・主催者あいさつ ・おことば ・来賓あいさつ ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還 ・選手宣誓 審査員紹介 審査基準説明
10:10～	出場チーム演技(1～10番目) 
12:00～	昼休憩
12:50～	出場チーム演技(11～15番目) 休憩 
13:50～	出場チーム演技(15～20番目) 休憩 
15:10～	ゲストパフォーマー (HANDSIGN)
15:50～	表彰式 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 (全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞) ・審査員長講評 ・閉会あいさつ ・大会テーマソング「友達」(HANDSIGN)歌唱 
16:30	閉会

# 主催者あいさつ

## ●鳥取県知事あいさつ

### 鳥取県知事 平井 伸治

みなさま、おはようございます。本日は、佳子内親王殿下の御臨席を仰ぎまして、昨年に引き続き、手話パフォーマンス甲子園を開催することができました。誠にありがとうございます。また、お忙しい中にもかかわらず、(全日本ろうあ連盟)石野理事長様や(日本財団)尾形理事長様をはじめ、数多くの方にお越しいただきました。本当にありがとうございます。

そして、全国各地の高校生の方々にこの度ご参加をいただきました。鳥取の県民を代表いたしまして、心よりご歓迎申し上げます。

ここ鳥取県では、2年前に手話言語条例を制定いたしました。それ以来、例えば、学校で手話を学ぶこととか、タブレット端末を使った遠隔手話通訳サービスといった取組を行っております。また、最近タブレット端末を使った音声文字変換システムというものを導入し、県庁や駅などに設置することにしました。私たちの願いとしては、鳥取県から全国に向けて、「手話革命」を起こしたい、ということです。

ここ、鳥取県には数多くの観光地がございます。例えば、近くの境港市には水木しげるロードがあります。鳥取県は人口は少ないのですけれども、妖怪は多いのです。妖怪といっても、鬼太郎だけでなく、ネコ娘やねずみ男、また、砂かけばあさんがいますけれども、そのおかげで鳥取砂丘ができました。

今日は、応募があった47チームの激戦を勝ち抜きまし



て、みなさんはこの場にやって来られました。ぜひ、優勝を目指して頑張ってくださいと思います。

ヘレン・ケラーは言いました。「希望は、人々を成功へと導く信仰である」。みなさまは手話でコミュニケーションできるのです。みなさまは手話を使って障がいを知り、共に生きる、そして、そういう社会をつくる。そういう心を持って行動しようとしているのです。ぜひ、みなさまと一緒に「手話革命」を起こしたいと思います。みなさまの本日のご健闘をお祈り申し上げます。

佳子内親王殿下のいやさかと、お集まりのみなさまのご健勝をお祈り申し上げまして、私のあいさつといたします。

鳥取県へウェルカニ!!



# おことば

## ●佳子内親王殿下おことば

本日、「第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催され、皆さまにお会いできましたことを大変うれしく思います。

2年前、鳥取県では、全国で初めての手話言語条例が制定されました。そして、他の地域においても、手話を普及する取組が積極的に行われています。このような活動に力を尽くされている方々に、心より敬意を表します。

昨年、私は第1回の大会に出席することができました。全国から集まった高校生が創り上げた、一つ一つの舞台に感動したことを、今でも思い出します。そしてこの後、皆さまが様々な形で表現される手話パフォーマンスを、とても楽しみにしています。

皆さまは、この日のために、仲間と話し合い、励まし合い、練習を重ねてこられたことと思います。全員が楽しみながら、これまでの成果を十分に発揮することのできる舞台となりますことを、期待しております。

手話は言葉であり、大切なコミュニケーション手段の一つです。この大会を通して、手話に対する理解と、聴覚に障がいのある方々に対する理解が一層深まるとともに、この大会が皆さまの素晴らしい思い出となりますことを願い、私の挨拶といたします。



# 来賓あいさつ

## ●全日本ろうあ連盟理事長 あいさつ

一般財団法人  
全日本ろうあ連盟理事長 **石野 富志三郎**

みなさま、おはようございます。本日、佳子内親王殿下の御臨席のもとに「第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

鳥取県では、手話言語条例制定からまもなく2周年を迎え、今まで積極的な取組がなされていますが、その中でも、聞こえない高校生と聞こえる高校生が同じ舞台に立つ「高校生による手話パフォーマンス甲子園」には大きな意味があると思います。

今年8月末、当連盟は国の手話言語法の制定を求めて、国会議事堂周辺をパレードしました。1,000人ほどの参加者が、手話はろう者の言語であり、情報格差のないともに暮らせる社会を作るため、手話言語法が必要であるとアピールしました。シュプレヒコール（※参加者が一斉にスローガンを唱えること。）はもちろん手話で行い、手話通訳者がそれを読み取る方法です。国会議員はもちろんのこと、通りを歩く国民のみなさんや国会議事堂見学の小学生にも、手話が大切な言語であることを、共に行動いただいた鳥取県とアピールできたと思います。

パレードで出会った小学生や、手話言語条例が制定さ



れた地域で、手話に出会った子どもたちが高校生になった時、聞こえる、聞こえないにかかわらず、手話を使って自己表現ができるこの大会にぜひ参加してほしいと思いますし、出場した高校生が誇れるような大会となることを願ってやみません。

最後になりますが、本大会の主催であります手話パフォーマンス甲子園実行委員会をはじめ、鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会、そして日本財団の今後ますますの御発展と、出場者のみなさんの健闘を祈り、私のあいさつといたします。



## ● 日本財団理事長あいさつ

### 日本財団理事長 尾形 武寿

みなさま、おはようございます。わたくしは残念ながら手話ができません。もともと言語学的な能力がないようでございます。ただ、手話を広めて、そして障がいを持った方々がこの世の中で共に生きられる、共に生活できる、そんな社会をつくることにかける情熱は誰にも負けないと思っております。

世の中には決して健常者だけではありません。いろんな障がいを持った方々がいらっしゃいます。障がいを持った方々は、ほんのわずかな手助けやほんのわずかな手段を持って、いくらでも世の中で活動できる機会がたくさんあります。それを我が国は長年にわたって閉ざしてきたのではないかとわたくしは心配しております。日本財団は、聴覚障がいのみならず、ありとあらゆる障がい者に対して、世の中でごく当たり前に生活をできるような環境をつくるべく努力しております。いわゆる、ソーシャルイノベーション、社会変革です。その社会変革はわたくし共や国や行政だけでできるものではございません。国民がみんなですのために努力をすることです。

今日お集まりの高校生のみなさん、よくいらっしゃいました。あなた方のパフォーマンスでみんなに感動を与え、その感動をまた次の世代につないでいく。そして日本中の人々が手話をごく当たり前のコミュニケーション手段として理解できるような世の中を共につくっていかうではありませんか。そうすれば日本は今よりももっともよくなります。

我が国は、どの社会からもどの世界からも平和で安全で清潔ですばらしい国と賞賛されております。それは、日



本には皇室が存在し、日本の国という形をつくっているからです。それを世界中にもっと誇るためにも、お年寄りも含め障がい者の方々が一般に生活できるような社会づくりに邁進していきたいと思っております。みなさんも一緒になってそういう社会づくりをしていただきたいと思っております。

今日はみなさん方のパフォーマンスを本当に楽しみにしています。マスコミの方もたくさんおいでになっていますので、日本中に伝えてくれるでしょう。そうすることによって、来年はこの大会に私も出たいという学校がたくさん出てくれば、それはまた大きな力になります。がんばってください。

本日ご臨席いただきました佳子内親王殿下と、それからご在席のみなさまの健康とご多幸、そして家族のみなさま方のご多幸をお祈りして、わたくしのご挨拶といたします。ありがとうございました。

# 選手宣誓

## 愛知県立杏和高等学校 秦 秀馬

宣誓。

今、私たちは第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の舞台に立てることに、緊張と喜びを感じています。それはこの大会を通して、多くの方々に手話を知ってもらうチャンスだからです。

聞こえない人にとって、手話はとても大切な言葉です。私たちはそれを理解し、たくさんの方とのコミュニケーションがとれるようになりたいです。

この大会が、多くの人とふれあい、語り合い、障がいを理解し、共に生きる社会を実現する一歩となるよう、全力でパフォーマンスすることを誓います。

愛知県立杏和高等学校 秦秀馬



# 司会者・審査員

## 司会者



早瀬憲太郎さん

ろう者として、学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導等を行っている。映画「ゆずり葉」の脚本・監督。長年にわたりNHK「みんなの手話」講師として出演してきた。



今井絵理子さん

1996年SPEEDとしてデビュー。2008年には日本テレビの「24時間テレビ」に出演し、聴覚障がいのある息子と前向きに生きる姿を公表。現在は「ERIHRO」としても活躍中。

## 総合司会

○大木浩司さん／NHK鳥取放送局アナウンサー

## 審査員

○庄崎隆志さん(審査員長)／演出家・俳優

○貴田みどりさん／女優・ダンサー

○小中栄一さん／全日本ろうあ連盟副理事長

○三浦 剛さん／俳優

○水戸真奈美さん／歌手

○佐分利育代さん／鳥取大学名誉教授



庄崎隆志さん



貴田みどりさん



小中栄一さん



三浦 剛さん



水戸真奈美さん



佐分利育代さん



# 大会ゲスト

## ● ゲストパフォーマー

HAND SIGN(ハンドサイン)



### ♪ 友達

(第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園公式ソング)

離れてもきずなは変わらずと誓うよ  
笑ったり泣いたり語り合ったりこれからもずっと忘れない  
バラバラの道は旅立ちの道さ さようならずっと  
do you remember the beautiful days  
めぐりめぐる時間の中で 思い出のフォルダのぞいてみりゃ  
色々な事があったよな 一つ一つが宝物  
笑った顔怒った顔 みんなで変顔して撮った写メも  
毎日したくだらねえ話も昨日の事のように思えるんだよ  
咲きそうな桜を見てる間にこのルールもそろそろ終わりさ  
大舞台の実感は0だけど未来への希望は100だけ  
着慣れた服のカウントダウンはまあ寂しいけれど  
心は晴れてるし仲間がいるしそれが楽しくて  
離れてもきずなは変わらずと誓うよ  
笑ったり泣いたり語り合ったりこれからもずっと忘れない  
バラバラの道は旅立ちの道さ さようならずっと友達さ



手話を取り入れた男性パフォーマンスアート集団。ニューヨークのアポロ・シアター『アマチュアナイト』で2度の優勝。  
「DREAM STAGE」は、デフリンピックの公式ソングともなった。  
「はなまるマーケット」や「24時間テレビ」などTV出演も多数あり、現在は、NHK「みんなの手話」でレギュラー出演中。

近年は、中学・高校を訪れ、音楽やダンスを通して、エンターテインメントの角度から手話の楽しさ、大切さを学生の皆さんに伝えるプロジェクト「HAND SIGN SCHOOL PROJECT」を全国で展開しています。  
第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園では、公式テーマソングとして「♪ 友達」が採用されました。

# 出場チーム

## ● 20チーム(応募数 47チーム)

発表順	高校名	都道府県	出場	内容	演技者数
1	松原高等学校	大阪府	2回目	歌	9
2	杏和高等学校	愛知県	初	演劇・歌	13
3	大泉桜高等学校	東京都	2回目	演劇・歌	4
4	熊本聾学校	熊本県	初	落語	2
5	鳥取城北高等学校	鳥取県	初	朗読・演劇	6
6	身延山高等学校	山梨県	初	演劇・歌	12
7	境港総合技術高等学校	鳥取県	2回目	ダンス・歌	16
8	平塚湘風高等学校 鹿島学園高等学校平塚キャンパス 神奈川工業高等学校	神奈川県	初	ダンス	5
9	クラーク記念国際高等学校東京キャンパス	東京都	2回目	歌・ダンス	8
10	京都府立聾学校	京都府	初	演劇	9
11	田鶴浜高等学校	石川県	2回目	演劇・歌	5
12	真和志高等学校	沖縄県	2回目	歌・エイサー	12
13	鳥取聾学校	鳥取県	2回目	演劇・歌	5
14	二俣川看護福祉高等学校	神奈川県	初	演劇・歌	4
15	野津田高等学校	東京都	初	歌・ダンス	9
16	石狩翔陽高等学校	北海道	2回目	演劇	11
17	三重高等学校 松阪工業高等学校 相可高等学校	三重県	2回目	ダンス	6
18	奈良県立ろう学校	奈良県	2回目	演劇	5
19	三井高等学校	福岡県	2回目	歌	6
20	久居高等学校	三重県	初	ダンス	6

### 【参考:予選参加校(上記以外)】

ブロック名	高校名	ブロック名	高校名
北海道・東北 ブロック	室蘭栄高等学校(北海道) 美唄聖華高等学校(北海道) 新得高等学校(北海道) クラーク記念国際高等学校 仙台キャンパス(宮城県)	近畿 ブロック	伊賀白鳳高等学校(三重県) 八幡高等学校(滋賀県) 昇陽高等学校(大阪府) 平城高等学校(奈良県)
	関東 ブロック	大川学園高等学校(埼玉県) 誠和福祉高等学校(埼玉県) 豊南高等学校(東京都) 横浜南陵高等学校(神奈川県) 川崎高等学校(神奈川県)	中四国 ブロック
中部 ブロック		啓新高等学校(福井県) 安城生活福祉高等専修学校(愛知県) 桜花学園高等学校(愛知県)	九州・沖縄 ブロック

# 受賞チーム

賞	発表順	チーム(都道府県)	最終得点
優勝	18	 奈良県立ろう学校(奈良県)	289
準優勝	17	 三重高等学校(三重県) 松阪工業高等学校(三重県) 相可高等学校(三重県)	271
第3位	9	 クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都)	268
審査員特別賞	11	 田鶴浜高等学校(石川県)	-
全日本ろうあ連盟賞	18	奈良県立ろう学校(奈良県)	-
日本財団賞	18	奈良県立ろう学校(奈良県)	-
	13	鳥取聾学校(鳥取県)	-

# 表彰

## ● 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞。優勝チームには、全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞も授与

## ● 優勝盾



## ● 優勝旗



## ● メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(素材は鳥取砂丘の砂)

## ● 記念品



メダル授与者を除く選手全員にプレゼント(素材は鳥取砂丘の砂)

## ● 記念品



優勝チームの選手全員に授与



5万円相当



3万円相当



1.5万円相当

# 大会の様子



誓  
い



想  
い



青  
春



情  
熱





熱意



声援



感動



感謝



# 会場運営

## ● あいサポート・よなごマルシェ

障がい福祉サービス事業所・米子商工会議所青年部による物販販売を行いました。



## ● 鳥取聾学校 写真展

鳥取聾学校 写真部による「写真展」を開催しました。



## ● 総合案内

手話通訳・音声文字変換システム・文字での会場案内などのサービスを提供しました。



## ●鳥取県聴覚障害者協会ブース

協会の紹介のほか、グッズ販売を行いました。



## ●公式グッズ販売ブース

公式グッズの販売をおこないました。



## ●鳥取県観光PRブース

鳥取県の観光PRをおこないました。



## ●おもてなしブース

JR米子駅コンコース内におもてなしブースを設置しました。



## ●パブリックビューイング

会場正面入口・ふれあいの里の2箇所パブリックビューイングを行いました。



# 広報・誘致

## ● 広告等

- ・日本海新聞 半5段広告
- ・日本海テレビ 開催告知15秒TVCM放映(30本)
- ・日本海テレビ 情報番組「スパイス」内にて告知



新聞広告



新聞広告



テレビCM

## ● チラシ等

- ・A4版チラシ(出場校募集篇・開催前篇・参加校決定篇)
- ・B1版/B2版ポスター
- ・のぼり



出場校募集篇



開催前篇



参加校決定篇



ポスター



のぼり

## ● HAND SIGN SCHOOL PROJECT

9月10日(木) 公式ソングを歌う「HAND SIGN」が米子西高等学校で大会PRと手話の普及を目的にしたコンサートを行いました。





## ● YouTube動画



大会プロモーション映像「開催篇」



大会プロモーション映像  
「手話を知る5分間の旅篇」



第2回大会公式テーマソング  
HANDSIGN『友達』(手話ver.)



応援メッセージ HAND SIGN



応援メッセージ 今井 絵理子さん

## ● YouTube生配信



7月29日 予選審査会



9月22日 本選

## ● ホームページ・SNS

公式サイトを開設。Facebook、twitter、LINEを活用し、大会の情報など随時発信しました。



Facebookの画面

## ● 街頭ディスプレイ

平成27年6月15日(月)～9月22日(火・休)まで、山陰主要駅(鳥取駅、米子駅、松江駅、出雲市駅)でデジタルサイネージによる広告を行いました。



JR鳥取駅

# 交流会

## ●日時

平成27年9月21日(月・祝) 18時～20時

## ●会場

米子全日空ホテル「飛鳥」

## ●出席者

約260名

- ・手話パフォーマンス甲子園出演者(出場チーム、審査員、司会者等)
- ・来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員等)
- ・主催・共催者(鳥取県、実行委員、鳥取県聴覚障害者協会)

## ●主催

鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## ●形式

立食ビュッフェ方式

## ●次第

- ・主催者あいさつ
- ・乾杯
- ・出場チーム抱負
- ・アトラクション①(鳥取県の見どころ紹介 カニくん(中谷英明さん))
- ・アトラクション②(手話漫才 萬屋手話本舗 ぷ〜&み〜企画)
- ・司会者からのエール(早瀬憲太郎さん、今井絵理子さん)
- ・審査員長からのエール(庄崎隆志さん)
- ・閉会あいさつ

## ●皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席いただいた。



交流会に御臨席になる佳子内親王殿下。



# 実行委員会

## ● 実行委員会委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 武寿
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	荻原 耕三
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	福田 幸夫
	鳥取県商工会議所連合会 会長	藤縄 匡伸
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志

【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

## ● 企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	松田 佐恵子
委員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会委員長	諸家 紀子
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二
	鳥取県教育委員会教育次長	小椋 博幸
	鳥取県高等学校長協会 会長	藤原 辰広
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	藤田 則恵

## ● 監事

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校事務長	前田 潤子
	鳥取県会計管理者会計局会計指導課長	田中 順一



第2回 全国高校生  
手話パフォーマンス甲子園  
実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会 共催 鳥取県／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 特別協力 一般財団法人全日本ろうあ連盟

後援 内閣府／厚生労働省／文部科学省／米子市／一般社団法人日本手話通訳士協会／一般社団法人全国手話通訳問題研究会／全国聾学校長会／全国高等学校文化連盟／朝日新聞厚生文化事業団／NHK厚生文化事業団／社会福祉法人全国社会福祉協議会／全国難聴児を持つ親の会／日本演劇教育連盟／朝日新聞社 毎日新聞鳥取支局／読売新聞鳥取支局／産経新聞社／日本経済新聞社鳥取支局／新日本海新聞社／山陰中央新報社／中国新聞鳥取支局／共同通信社鳥取支局／時事通信社鳥取支局／NHK鳥取放送局／BSS山陰放送／日本海テレビ／TSK山陰中央テレビ／テレビ朝日鳥取支局／鳥取県ケーブルテレビ協議会／(株)エフエム山陰／FM鳥取／DARAZ FM

協賛  株式会社 不二家システムセンター  TOTTORI BANK  TIC  山陰合同銀行  大山どり (一社)鳥取県西部建設業協会  日本海新聞  いっちゃんムテチョー 日本海テレビ

特別協賛 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION